

年間調査実績
6700件超



リサーチ視点で課題の提言を導く



定性調査 報告書の作り方

 WEB SEMINAR 2024.7.29.月.13:00

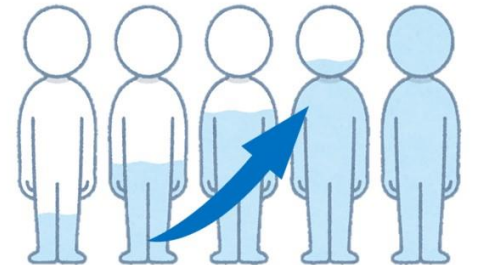
株式会社エスアールエー

角 泰範 (すみ やすのり)

代表リサーチャー&モデレーター

■ 簡単なプロフィール

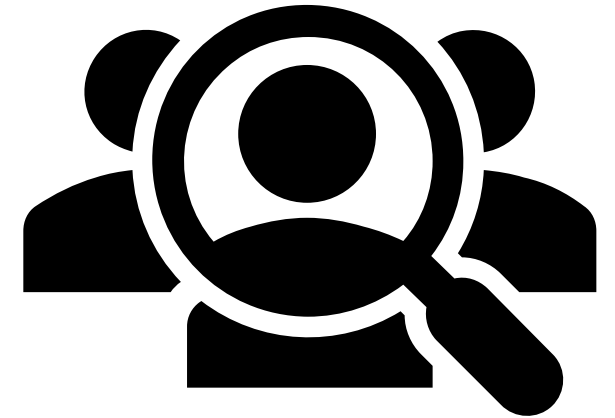
- ✓ 株式会社エスアールエー代表取締役社長。
- ✓ リサーチャーとして10年以上の経験。
- ✓ 定量・定性調査の企画設計から実査、分析・報告まで一貫して対応。
- ✓ 多変量解析などの統計的分析やモデレーターとして定性分析も対応。
- ✓ 年間およそ200セッションのモデレーション実績。
- ✓ 化粧品、自動車、食品、飲料、サプリメント、人材、IT、B2Bなど多くの業界のあらゆる分野の調査を定量・定性問わず行ってきました。



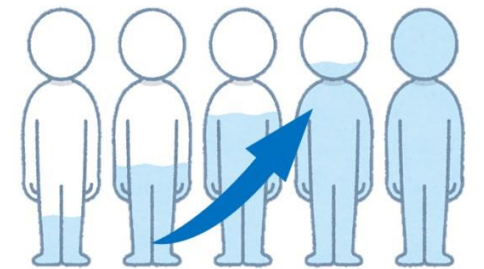
こんなことに困っている方いませんか？

定性調査のまとめ方がわからない。定性調査の分析が難しい。
どのような手順で定性調査の報告書をまとめていけばいいかわからない。
いろんな意見があってまとめられない。

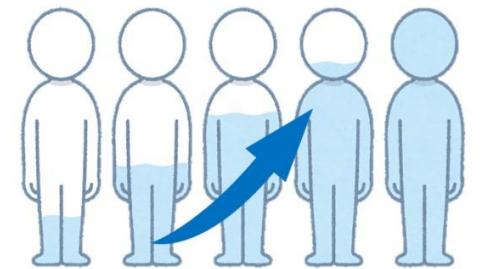
定性調査の報告書についての理解



1. 定性調査の報告書とは
2. アウトライン（骨子）の作成方法
3. 報告書の作り方
4. 発言録の活用方法



1. 定性調査の報告書とは
2. アウトライン（骨子）の作成方法
3. 報告書の作り方
4. 発言録の活用方法



定性調査とは因果関係を紐解く調査である

定量調査



1. 収集したデータを統計的に分析
2. 生活者の行動や意識を数値化
3. 相関（傾向）を分析

定性調査

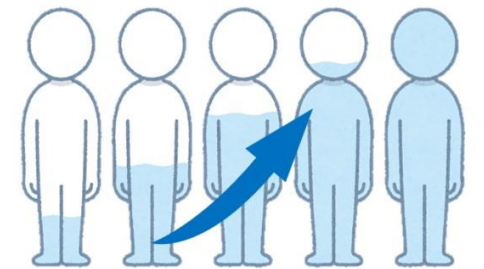


1. 意識や行動、態度を質的に分析
2. 数値で表現できない行動や意識
3. 因果関係を分析

定性調査の報告書は本質的な部分にフォーカスしていく

1. 定性調査の後のアクションを考えて作る
2. 何と何を比較していくのかを考えて作る
3. どんな人が発言した言葉なのかを考えて作る
4. 「どんな人」の定義をしっかりと考えて作る
5. 発言の文脈を理解して作る

1. 定性調査の報告書とは
2. アウトライン（骨子）の作成方法
3. 報告書の作り方
4. 発言録の活用方法



その調査における論点を明確にしておく

1. 論点とはマーケティング課題における問い
2. 仮説とは論点に対する仮の答え
3. 結論は仮説を検証した結果を合わせて出た答え




論点と仮説があって報告書を作ることができる
論点に沿ってアウトラインを整理していく

論点を整理したうえで下記のプロセスを踏む

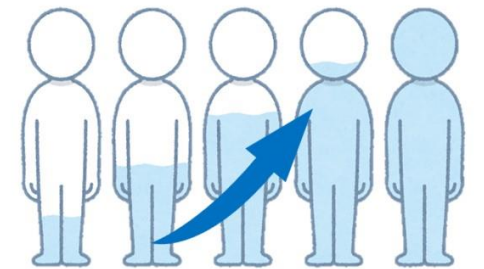
定性調査の分析

梅沢伸嘉『実践グループインタビュー入門』より

特定のマーケティング目的・課題を達成させるために、インタビュアーによって聴取された情報の中から、調査課題に照らして読み取った記録を分け、情報を構造化し、各調査課題に答えを与え、それらを統合して調査目的を達成する。

- 
1. 調査課題に照らして読み取った記録を分ける
 2. 情報を構造化する
 3. 各調査課題に答えを与える
 4. それらを統合して調査目的を達成する

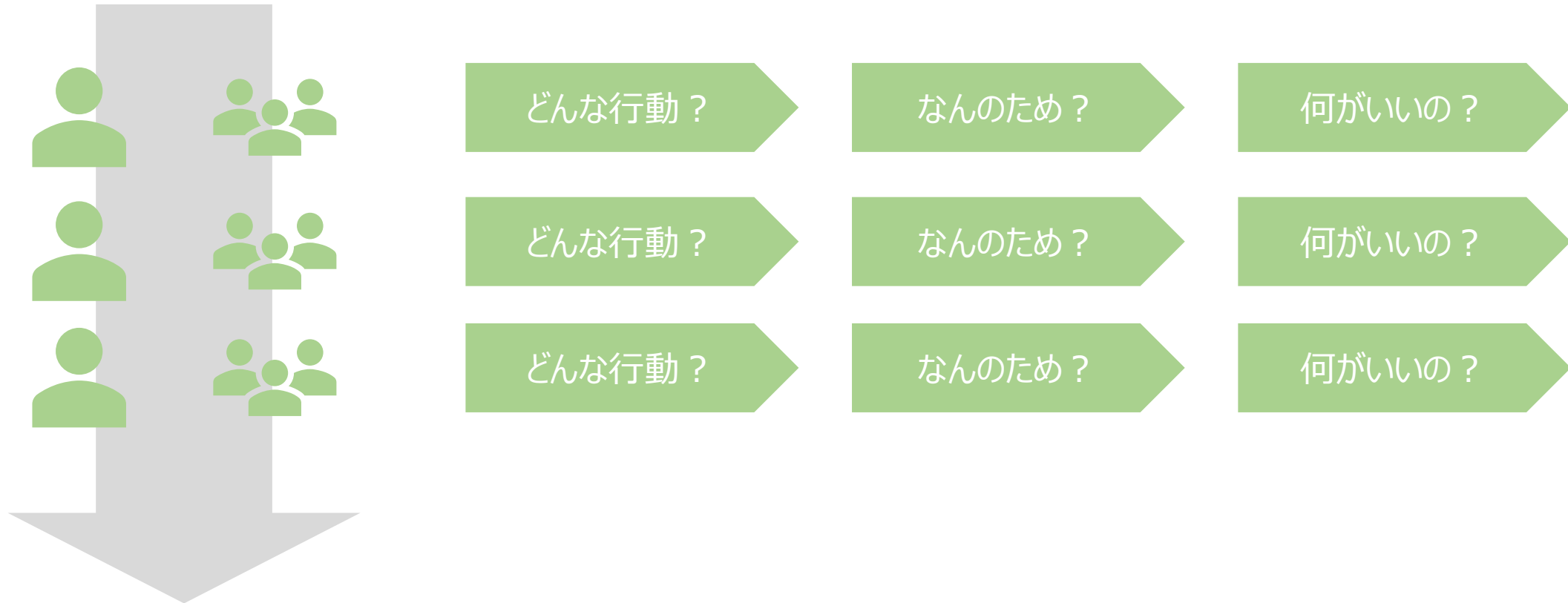
1. 定性調査の報告書とは
2. アウトライン（骨子）の作成方法
- 3. 報告書の作り方**
4. 発言録の活用方法



「分析」とは 分けて考えること



インタビューにおける分析とは



各対象者を理解したら対象者同士を比較する

対象者を比較するとは



属性の違い

性別や年代、ライフスタイルによって生じる違いなのか

条件の違い

使用商品など条件によって生じる違いなのか

価値観の違い

考え方や信条によって生じる違いなのか

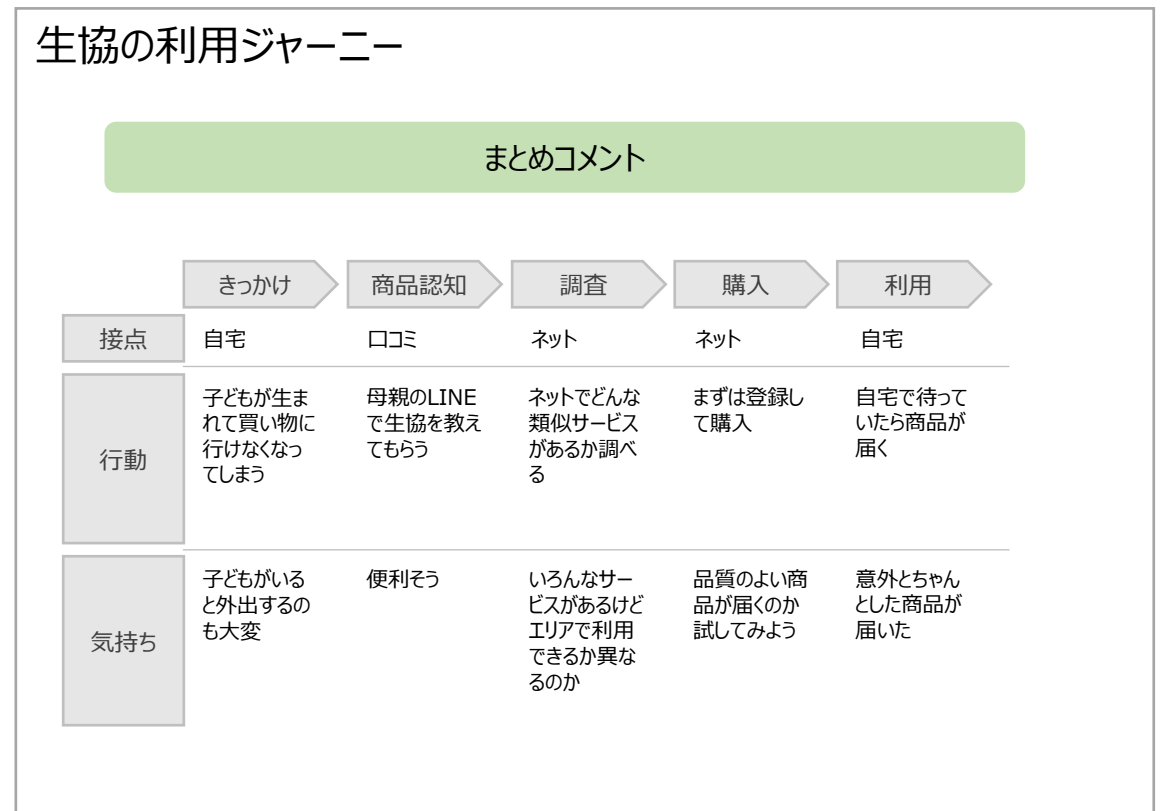
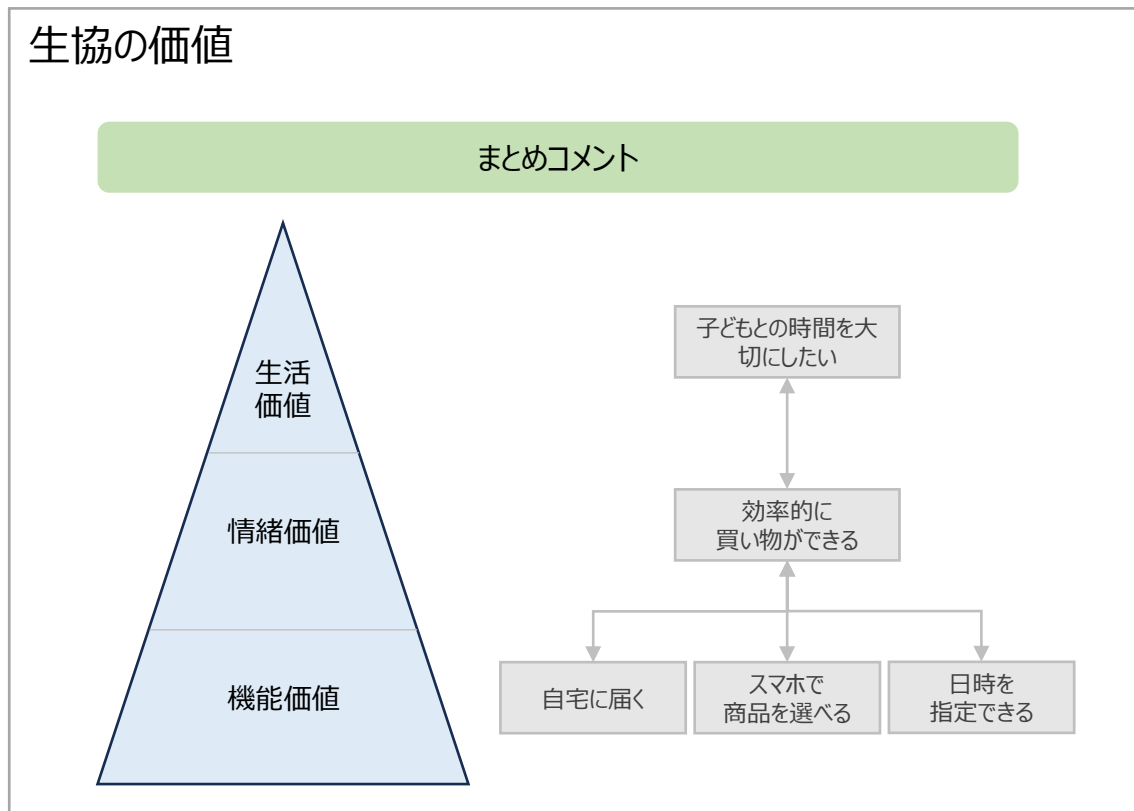
体験の違い

購買・使用の体験によって生じた違いなのか

検証したい仮説や評価に影響しているか

テーマごとに分類した情報を視覚化し構造化する

例：

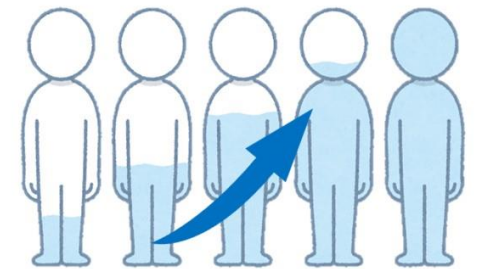


※サンプルです

定性調査の報告書として次はNG例である

1. 定量的にまとめてしまう
2. 表層的な発言を羅列してしまう
3. 結論だけを書いてしまう
4. 大雑把に雰囲気まとめてしまう
5. 必要以上に細かくまとめてしまう

1. 定性調査の報告書とは
2. アウトライン（骨子）の作成方法
3. 報告書の作り方
4. **発言録の活用方法**




発言録は記録の切り分けに活用する

定性調査の分析

梅沢伸嘉『実践グループインタビュー入門』より

特定のマーケティング目的・課題を達成させるために、インタビューによって聴取された情報の中から、調査課題に照らして読み取った記録を分け、情報を構造化し、各調査課題に答えを与え、それらを統合して調査目的を達成する。

- 
1. 調査課題に照らして読み取った記録を分ける
 2. 情報を構造化する
 3. 各調査課題に答えを与える
 4. それらを統合して調査目的を達成する

発言録は縦・横に読み解き、テーマごとに情報を分けていく

発言録

	対象者1	対象者2	対象者3	対象者4
テーマ① 質問a				
テーマ① 質問b				
テーマ② 質問	個として、背景・因果を理解する			

ご清聴ありがとうございました

定性調査・自主調査

インタビュー調査が見放題！

アスマークオリジナル開発のオンラインインタビューシステム

i-PORTチャンネル



無料視聴はこちら



A
A
S
M
A
R
Q

ネットリサーチ業界で トップクラスの案件実績数

アスマークは全国に約100万人（提携パネル含め約1,700万人超）のインターネットパネルを構築する調査会社です。

インタビュー調査などの定性調査から、ネットリサーチ事業を始めとした定量調査を主とし、その他独自のサービスも提供しています。

モニター
リクルート
事業

約3,000件超

ネット
リサーチ
事業

約2,000件超

ホーム
ユーステスト
事業

約300件超

会場調査
事業

約200件超

品質

徹底された 仕組み化

各セクションへ明確な業務権限を付与し、業務プロセスを徹底的に体系化。高品質な業務を安定提供いたします。

集約された ノウハウ

調査実績は4万件超。専門知識を持つ社員による事業推進を基盤にナレッジを社内共有する仕組みを整備。更に改善と知識の刷新を重ね、恒常的なクオリティ向上に努めています。

同業界との 連携

アンケートパネルのリクルートを始めとした長年にわたる同業他社との連携も。また、他社との事業提携も継続的に推進しリサーチ業界全体の発展へ寄与しています。

外部認証機関 の証明

品質担保の証としたプライバシーマーク取得を始めとし、製品認証の国家/国際規格「JIS Y20252 (ISO20252) : 2019」も取得。定期的に全社員を対象とした正しい情報の取り扱いも啓蒙し、質の担保へ努めています。

アスマーク・定性調査の強み

圧倒的なリクルート力

対象者の発言力や条件合致度などの確認作業を、リクルート案件数No.1のノウハウを生かして行い、質の高い対象者をリクルーティングします。

幅広い課題に対応するモデレーターネットワーク

「法人個人含め、50名以上のモデレーター」とつながりがあり、案件ごとに最適なモデレーターのアサインが、スムーズに可能です。

自社独自開発システム

定性調査に特化した、インタビュー・チャットシステムを独自開発し展開。調査会社の目線で質を追求した、上質なリサーチ環境をお届けします。

納得感を追求。知見を基とした提案力

小回りの利く「迅速・柔軟な対応」を社員全員が志しております。スケジュールや費用調整、無料出現率調査の実施など、お客様にご満足頂けるレスポンスの早さで対応いたします。



アスマーク・定量調査の強み

アンケート専用自社モニターと提携パネル6社による回収パワー

カードやEC会員の寄せ集めではなく『アンケートやインタビューを目的』として構成される自社モニター。そのため協力率や遅刻・欠席率が他社様と異なり、市場発展に対する高い調査貢献力が強みです。更にトップクラスのパネル提携数を誇るため、1700万人を対象にリサーチが可能。出現率の低いテーマや回収量の必要なリサーチ現場で、多くの皆様にご活用頂いております。

企画設計からレポートニング・報告会までフルサポート

専門統計調査士やマーケティング実務士等、リサーチやマーケティング知見を有した者が複数在籍しており、リサーチ会社のなかでは珍しくリサーチャーが企画設計～分析レポートニングまで一貫して対応。機械的ではなくよりお客様の意図を汲み取った対応を最大限心掛けております。

幅広いジャンルへの対応力

分け隔てない業種業態へ対応しており、様々な領域におけるリサーチ経験を保有。業種業界ごとに、専門チームが知見を活かして責任対応いたします。



i-PORT voice

リサーチ特化型 | オンラインインタビューシステム

長きにわたり定性調査に強みを持つ、アスマークが独自開発した、調査専用のオンラインシステム。インタビュー会場特有の空間構造をオンライン上で再現しているため、デプスインタビューはもちろん、最大6名までのグループインタビューの実施や、パッケージ評価・試飲試食調査など、幅広い検証が可能です。従来システムでは難しい「同時通訳機能」や「言語選択機能」など多彩な機能も完備。海外調査におけるオンラインインタビューも可能です。

5つのポイント

インタビュールーム
ミラールーム
バックルーム
を実現

バックルーム同士の
コミュニケーション
が可能

好みの大きさと
画面拡大が可能
オンラインでも
表情を捉えやすく

インカメラ/
アウトカメラの
マルチな切り替え
が可能

モデレーター
2名体制で
インタビュー
できる



i-PORT chat

リサーチ特化型 | チャットインタビューシステム

全国100万人超の調査パネルを保有するアスマークだから開発できた

「希望のモニターへ気軽にチャット調査ができる」独自のチャットインタビューツールです。

モニターリクルート・定性調査に圧倒的業界シェアを持つ当社目線を活かし、チャットインタビューに適した対象者の設定～インタビューまでを、一気通貫してスピーディに実施させていただきます。

多くのお客様に、インタビューやホームユーステストの予備調査としても、マルチにご活用頂いています。

5つのポイント

調査会社視点で開発
インタビュアー・
モニターそれぞれに
フィットしたUI

スマホやタブレット
など
マルチデバイス
対応が可能

便利な
「チャット
テンプレート」で
質問の入力も楽々

動画や画像の
添付も簡単

調査目的・概要と
インタビュー履歴を
1つのファイルで
まとめてDL可能

会社概要

所在地	<ul style="list-style-type: none">・ 本社 〒150-0011 東京都渋谷区東1-32-12 渋谷プロパティータワー4階 TEL：03-5468-5101・ 八戸事業所：実査部 〒031-0032 青森県八戸市大字三日町2 明治安田生命八戸ビル8階 TEL：0178-20-8638・ 大阪事業所：営業部 〒541-0047 大阪府大阪市中央区淡路町4-3-5 FPG links MIDOSUJI 9F TEL：06-6809-3457・ 福岡事業所：営業部・実査部 〒810-0041 福岡県福岡市中央区大名1-8-10 福岡安藤ハザマビル6階 TEL：050-5306-7274・ 横浜事業所：営業部・実査部 〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町207-2 関内JSビル2階 TEL：045-225-9063・ 長岡事業所：実査部 〒940-0033 新潟県長岡市今朝白1-8-18長岡DNビル9階 TEL：0258-86-4381・ 中目黒事業所：実査部 〒153-0043 東京都目黒区東山1-6-2 TPR中目黒ビル3階 TEL：03-6451-2903
創 立	1998年12月
設 立	2001年12月
資本金	139百万円 (2023年12月31日現在)
売上高	4,282百万円 (2023年11月期)

役 員	代表取締役	町田 正一
	取締役	水城 良祐
	取締役	飯田 恭介
	社外取締役	木原 康博
	社外取締役 (監査等委員)	鈴木 親
	社外取締役 (監査等委員)	大内 智
	社外取締役 (監査等委員)	塩月 潤道

社員数 295名 (2023年11月末時点)

事業内容

- ・ 市場調査
- ・ HR Techサービス
- ・ RPA導入・運用支援
- ・ 労働者派遣事業 (許可番号：派13-311841)

運営サイト

- ・ アンケートモニター募集サイト「D STYLE WEB」の運営・管理
- ・ 買った人・使った人の評価サイト「シェアビュー」の運営・管理
- ・ 外国人市場調査業務「e-gaikokujin.Recruiting」の運営・管理

取得認証



加盟団体

- ・ 東京スタンダード市場 上場
- ・ 社団法人 日本マーケティングリサーチ協会 (JMRA)
- ・ 社団法人 日本マーケティング協会 (JMA)
- ・ アジア経営者連合会

調査のご相談はこちら



ASMARK